



放送大学東京足立学習センター機関誌

葦立

あし
だ
ち

【発行日】2020年9月30日

【発 行】放送大学東京足立学習センター

〒120-0034 東京都足立区千住5-13-5

学びピア21(6階)

TEL.03(5244)2760 FAX.03(5244)2762

【編 集】葦立編集室

葦立
あし
だ
ち

都立舍人公園

Contents

● 客員教授就任の挨拶	2P
● 客員教授就任の挨拶	3P
● 客員教授就任の挨拶	4P
● 通信指導について	5P
● 面接授業のご案内	5P
● 事務室からのお知らせ	6P

「はじめまして」



放送大学東京足立学習センター客員教授

伊藤 美重子



今年3月にお茶の水女子大学を定年退職し、この4月に、足立学習センターの客員教授に就任しました。本来なら「入学者の集い」があると伺っていましたが、今年度は、コロナウイルスの感染流行に伴い、密なる環境は避けられて、皆さまとお会いすることができずにいるのが残念です。

私が主に研究対象としている分野は、大きく二つあります。中国古典文学とくに「敦煌文書」を資料とした唐末五代の民間の習俗や文学に関する研究と後漢の許慎の『説文解字』を資料とした漢字の研究です。

『説文解字』のほうは、私の学生時代の恩師である賴惟勤先生から学びました。「学びました」という表現は、あまり正確でなく賴先生が学部の授業で「説文」を扱ったことはなかったように記憶しています。たぶん、学部生には、その解説は難しいと思っていたのでしょう。当時、賴先生を中心とした「説文解字讀書会」があり、現役院生や卒業生・修了生が参加し、清の段玉裁の『説文解字注』を読んでいました。私は院生になってからその讀書会に参加し、そこでの解説を通じて学びました。そして平成4年(1992)に富山大学に職を得て、学部3年生を対象に、段玉裁『説文解字注』の講読の授業をしました。その頃には、尾崎雄二郎編著『説文解字訳注』が出版されていたので、それを資料に読んでいました。学生は資料の山と格闘しながら、一歩一歩進みながら、自分なりの理解にたどり着き、最後に「ああ、そういうことだったのか」とスッキリする快感を味わってほしいと思っていましたが、実際のところ、どうであったのかは不明です。平成10年(1998)にお茶の水女子大学に転出し、やはり3年生を対象に『説文解字注』を読んでいました。みな、相当な時間を費やして、自分なりの理解にたどり着いてゆきます。学生と一緒に「あーでもない、こーでもない」といながら学習するのは楽しいことです(と私自身は思っていますが…。)

もう一つの研究対象は敦煌文献です。「敦煌」といえば、井上靖の『敦煌』という小説を思い浮かべる方も多いと思います。小説の中では、西夏軍が敦煌を攻めて来るということで、仏教經典などの貴重な文献を敦煌莫高窟のある一つの石窟の中に急いで隠したことになっています。これが「秘蔵説」です。もう一つの有力な説として、「廃棄説」つまり、不要になった文書を紙の再利用のために備蓄していたというものです。実際のところ、どうであったのか、まだ検討の余地がありそうです。敦煌文書には、とくに中原では失われてしまった民間の資料が含まれています。私は、それらの資料を収集・整理・解説して唐末五代の民間の文藝のありようを探ることに努めています。敦煌文書の多くは手書きで読みにくいものが多いのですが、当時の人々の生の声を聞くようで、興味深いです。

歴史から現代を考える



放送大学東京足立学習センター客員教授

古瀬 奈津子



今年度より客員教授として就任しました。私の専門は、日本古代史で、日本の国家や社会の原型がいつごろどのように成立したのかを研究しています。歴史はお話ではありませんし、現代と無関係なものでもありません。現在の日本がどのような過程を経て成立したのかを明らかにすることは、現代日本の国家や社会を考える上で欠かせないことだと思います。

日本史研究の切り口としてはいくつかのテーマを挙げることができます、「天皇制」と「家」は重要な研究テーマです。私が具体的に研究しているのは、日本古代において天皇制という政治システム・文化システムがどのように成立したのかという問題およびその特徴を明らかにすることです。

そのためには、史料を探して自ら読み込んでいくことが必要です。歴史学は他の研究者の説を集めただけではなく、その問題点を探り、自分で史料を読んで判断していくことが重要です。歴史学は記憶の学問ではありません。

私自身が現在関心があるのは、平安時代すなわち8世紀末から12世紀にかけての天皇制の問題です。この時期は摂政関白による摂関政治が始まることでも知られていますが、摂関と天皇との関係からこの時期の天皇制の性格およびその後の天皇制の展開について検討したいと思っています。

このように、私は日本史の研究を行っていますが、日本史を研究する際に日本国内だけではなく、国際的な視野をもって研究していくことが必要だと思っています。現在、歴史学ではグローバル・ヒストリーという分野が注目されていますが、近現代だけではなく、古い時代においても国際的な視野から日本の問題を考えていくことが重要だと思います。そのように見ていくことで、日本を相対的に把握することができるでしょう。

私は、実は以前にも東京足立学習センターで客員教授として、さまざまな学生さんと一緒に勉強する機会をいただき、とてもよい経験をさせていただきました。今回も楽しみにしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

客員教授就任の挨拶

地球を見つめる生物学



放送大学東京足立学習センター客員教授

最上 善広



今年度より客員教授を務めることになりました、最上善広と申します。現職はお茶の水女子大学基幹研究院教授で、大学院ではライフサイエンス専攻生命科学コース、学部では理学部生物学科を担当しています。放送大学の自然科学、特に生命科学に関するカリキュラムに貢献してゆきたいと思っています。

数年前に足立区生涯学習センターで講演を行った際に、放送大学の学習センターを見学させて頂き、学生さん達の活気溢れる様子に触れる機会がありました。それ以来のご縁になります。

私は放送大学文京学習センターで20年以上にわたって面接授業を担当してきました。今年度も、「初めての生物学実験」を担当する予定でしたが、ウイルス感染予防対策のために残念ながら開講できませんでした。実習なので、学生さん達との距離も近く、皆さんの学習への意気込みを直に感じつつ、授業を担当してきました。そこで感じたのは、放送大学で学ぶ学生さん達の学習意欲の高さです。興味ある分野にとことん集中する姿や、理解を深めようと世代を超えて熱心に交流する様子は、他では見られない放送大学の特徴だと思います。また、社会人ならではの知識や経験に基づいた質問を投げかけられることもしばしばで、とても刺激的な体験となっています。東京足立学習センターにおいても、多くの方々と交流を深め、刺激的体験をさらに増やしていきたいと思っています。

私の研究分野は、生物学、特に動物生理学です。生理学は生物の持つ機能と、その環境への応答に注目します。私はその中でも動物の運動機能を扱う、バイオメカニクスを中心に、動物がどのような運動能力を持っているか、そのメカニズムを探ることを研究対象としてきました。研究の過程で、動物の行動を含めた生命現象と地球重力との関係に注目し、宇宙・重力生物学に興味を持ち、日本の黎明期の宇宙実験に参加してきました。スペースシャトルや宇宙ステーションなどによる軌道上実験以外にも、自由落下施設や航空機の放物線飛行を利用した無重力実験も経験しました。

生命が誕生して以来、変わることなく影響を受け続けてきた重力がなくなってしまうと何が起こるのか。これまでの生物学では想定できなかつた実験環境を利用することで、地球とその上で活動する生命との関わりへの理解がより深まることを期待して研究を続けてきました。宇宙を舞台にした生物学研究を通して地球とそこでの生命活動を見直すことは、かけがえのない地球環境の重要性を再認識させてくれます。それとともに、このような実験を通して、地球の生命体が宇宙へ進出するために必要とされる知見が得られてきています。我々人類は地球以外に生活の場を広げることができるのだろうか、新たなアプローチを行うことで見えてくる、生命科学の新たな発展の可能性について考えていきたいと思っています。

通

信指導について

● 通信指導とは?……学期の途中に提出しなければならない中間試験のようなものです。

放送授業と一部のオンライン授業科目について、授業の一部として各学期の途中に1回一定の範囲で出題され、その答案を提出して担当教員の添削指導を受けることです。

通信指導の結果により、単位認定試験の受験資格を得ることができます。
未提出あるいは期限までに提出しなかった場合は、評価対象とはなりませんのでご注意ください。

問題は原則、印刷教材(テキスト)と同時に送付されます。内容は、概ね放送授業7~8回終了時点までの内容になっています。また、インターネット(web通信指導)でも提出可能です。一部の科目を除く。

提出期間 【郵便】11月17日(火)～12月1日(火) 《大学本部必着》

【Web通信指導】11月10日(火) 10:00～12月1日(火) 17:00

(提出期限を過ぎると受理されませんので余裕を持って提出してください。)

添削結果返送時期 2020年12月末～1月上旬

《添削結果が以下の未着期限までに届かない場合は、大学本部にお問い合わせください。》

①択一式科目(併用式科目の択一部分)…… 1月 8 日(金)

②記述式科目(併用式科目の記述部分)…… 1月18日(月)

面

接授業のごあんない

● 面接授業とは?

放送大学では、全国の学習センター等において約3,000科目の「面接授業(スクーリング)」を実施しています。面接授業は、直接教員から指導を受ける機会として重要であるばかりではなく、学生同士の交流・啓発の場としても広くご活用いただいております。

全科履修生の方は、卒業するために面接授業(またはオンライン授業)の単位を20単位以上修得する必要があります。選科履修生・科目履修生の方は必修ではありませんが、ご自身の学習したい内容に合わせて面接授業を受講することができます。(面接授業は1科目1単位です。)※教養学部のみ

—2020年度第2学期面接授業追加登録について—

科目登録決定後に空席のある科目については、追加登録期間中に科目の登録を追加することができます。授業を実施する学習センターにより登録の手続きが異なりますので、必ず授業を実施する学習センターに確認してください。

※今後の状況により変更となる場合があります。

**追加登録
日程**

空席発表 10月17日(土) 12時 空席状況は放送大学ホームページと

学習センター掲示板等でお知らせします。

登録期間 10月23日(金)～科目ごとに定められた受付期日まで

10月23日(金)15時以降、システムWAKABAで空席の状況をリアルタイムで確認できます。

追加登録初日

10月23日(金)

午前10時までに来所の方を対象に抽選、それ以降先着順。

※追加登録の際の持ち物……【学生証】(コピー不可) 【授業料】1科目あたり¥5,500

郵送による申請

10月24日(土)から郵送(現金書留)による申請も受け付けます。
(受付初日の10月23日は窓口申請のみとなります)

◎面接授業科目追加登録申請書 ◎学生証のコピー

◎所定の授業料 ◎返信用封筒(宛先明記、84円切手貼付)

以上を全て同封のうえ、現金書留によりお送りください。(ただし、希望者多数の科目は、直接来所の方を優先とします。申請は、科目ごとに定められた受付期限日までとなります。)

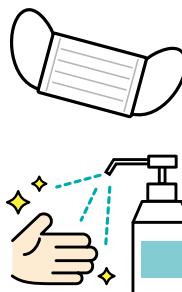
満席等の理由で登録できなかった場合には、手数料等を差し引いた額を返金します。

東京足立SCでは
36科目が開講
されます!!

事務室からのお知らせ

●東京足立学習センターのご利用について

新型コロナウイルス感染防止のため、引き続き以下の点にご注意いただきご利用ください。今後も変更が生じましたら、その都度、東京足立学習センターホームページにてお知らせします。

注意事項	
ご利用時の お願い	<p>①館内では、マスクの着用をお願いします。</p> <p>②入館の際は、手指の消毒や手洗いをお願いします。</p> <p>③他の方との距離を空け、大声での発声や近接した距離での会話等をお控えください。</p> <p>④咳・発熱・強いだるさ・息苦しさ・その他体調に不安のある方は入館をお控えください。</p> <p>⑤窓口のビニールカーテン設置や座席の間引き、常時換気等の感染の防止にご協力をお願いします。</p> 

●2020年度第2学期単位認定試験の実施について

7月に実施をした2020年度第1学期単位認定試験については、新型コロナウイルス感染症をめぐる国内状況に鑑み、代替措置として自宅受験という方法で実施いたしましたが、2020年度第2学期単位認定試験についても、新型コロナウイルス感染が拡大する可能性を考慮し、代替措置による自宅受験にて実施いたします。

1. 単位認定試験期間

当初予定していた日程を変更し、以下の日程で実施いたします。

2021年1月13日(水)～1月21日(木) (消印有効)

※事前に周知していた試験日程とは異なります。配布済みの授業科目案内やシステムWAKABAの時間割等は、変更前の日程で記載されていますので、期間をお間違えのないようご注意ください。

2. 単位認定試験実施方法

実施方法については、2020年度第1学期に準じた方法(自宅で答案を作成し、郵便で提出する方法です。)にて実施する予定です。

なお、2020年度第2学期の単位認定試験については、これから大学で検討を進め、郵便や大学ホームページ、システムWAKABA等で順次お知らせいたしますので、必ずご確認ください。

また、学籍に登録している住所が誤っている場合、単位認定試験の受験に必要な受験票や解答用紙等、郵便物の未着や遅延が発生いたします。登録住所に誤りや変更がないか、あらためてご確認いただきますようお願いいたします。